

---

# 名探偵コナン・沈黙(サイレント)の黒水晶(レクイエム)

ユーリ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

名探偵コナン・沈黙の黒水晶  
サイレント レクイエム

### 【Zコード】

Z5048T

### 【作者名】 コーリ

### 【あらすじ】

江戸川コナンと、明日団スウ・・・本来出会うハズのなかつた2人が出会う時、新たな事件が巻き起こる・・・『名探偵コナン』と『名探偵・スウと篠子の事件簿』、奇跡のコラボレーション小説！

!

## 第01話・出会い（前書き）

この小説は、『名探偵コナン』と『名探偵・スウと篠子の事件簿』のコラボレーション小説です。先に『名探偵・スウと篠子の事件簿』を読むとより楽しめるかと思います。

## 第01話・出会い

オレの名前は江戸川コナン。

今は子供の姿をしているが、その正体は高校生探偵・工藤新一だ。

オレには、大切な仲間達がいる。

少年探偵団。

吉田歩美、円谷光彦、小嶋元太が結成時のメンバーだ。

後から仲間になったのが、東尾マリア・坂本たくま・剣野刃・金田一ユリ・如月風月・常盤暁・片桐真希。

そして、灰原哀。

彼女は黒の組織の科学者だったけど、組織を裏切ってオレと出会った。

今は大事な恋人だ。

オレは彼らと共に、事件を解決しながら小学校に通っている。

だがオレは知らなかつた。

新たな探偵との出会いが、待つてゐる事を・・・

帝丹小学校

ユリ

「おはよー！」

ユリは元太と一緒に登校して來た。

元太

「ん？みんな、何をそんなに見入つてんだ？」

元太の言つ通り、歩美達は1枚の新聞に見入つていた。

歩美

「あ！元太君、ユリちゃん！」

光彦

「2人共、これ見て下さい。」

元太とユリが新聞を見ると、そこには7人の男女が写っていた。

元太

「何々・・・『柏少年探偵団、またも難事件解決！』・・・何だ  
？この柏少年探偵団つて・・・」

刃

「アタシ知つてるで。柏大学付属高等学校に通うてる7人組で、数  
多くの難事件解決してるいう・・・なあ、マリアちゃん。」

マリア

「ああ、ウチら転校する前は大阪に住んでいたからな。彼らの学校あんの、隣の兵庫県やし。」

たくま

「フーン・・・まあ兵庫県に住んでるヤツらなり、オレ達と会ひ事なんてないだろ。」

暁

「まあそつだるつな。」

その放課後・・・

真希

「コナン君と哀ちゃん、今日はお休みだつたね。」

歩美

「明日から夏休みだし、みんなでお見舞いに行きましょうー。」

刃

「そやね。」

マリア

「ん?あのコンビニの前に何や人だかりができるんna。」

光彦

「そういえば、昨日JJのコンビニで強盗事件があつたんですよ。幸い強盗は、たまたま居合させていた男女が捕まえたって・・・」

風月

「じゃあ、今報道陣に囲まれてるあの2人がそうなのかしら?」

「今日のニュースは、このコンビニで起きた強盗事件についてです。こちらが強盗事件を解決した、柏少年探偵団のお2人です!-!」

しばらく取材が続き、報道陣は帰つて行つた。

元太は早速、2人に近づき話しかける。

元太  
「よつ!兄ちゃん達も探偵団なんだってな。」

元太  
「ん?誰だオマエ達。」

元太  
「オレ達は、帝丹小学校の少年探偵団さーー!」

明日岡スウ  
あすおか

「なるほど、オマエ達が例の探偵団か・・・オレは明日岡スウ。柏大学附属高等学校に通つている。こいつがオレの相棒で幼なじみの、浜谷篤子だ。」

浜谷篤子  
はまや あつこ

「よろしくね。」

光彦

「ボク達も、たくさん事件を解決してきてるんです。」

元太

「お互いに情報交換しねえか?」

スウ

「オマエ達、まだ小学校1年生だろ?悪い事は言わん、あまり面白半分に事件に首を突っ込むな。」

歩美

「え?」

スウ

「子供の頃からあまりそういう事をしてると、直に痛い目を見る事になる・・・行くぞ、篤子。」

篤子

「あ、待つてよスウ・・・みんな、ゴメンね・・・」

スウと篤子は、元太達の前から去つて行つた。

第02話・探偵団大会

翌日 工藤邸

コナン

「おはよー。」

哀

「新一君、おはよー。」

浅井成美

「2人共、寝てなくちゃダメじゃないですか。昨日は39もあつたんですよ?」

コナン

「大丈夫だよ、今日測つたらもう36・5 だつたし・・・」

哀

「それに、そろそろあの子達が来るでしょうから・・・」

ピンポーン。

成美

「はい。」

ガチャ!

歩美

「コナン君、哀ちゃん。」

光彦

「お見舞いに来ましたよ。」

ユリ

「色々果物買って来たから、良かつたら食べてよ。」

コナン

「ありがとうございます。」

元太

「そうそう、実は2人に話したい事があつてさ。」

哀

「話したい事?」

歩美達は、昨日出会った男女についてコナンと哀に話した。

コナン

「へへ、柏少年探偵団の明日岡スウと浜谷篤子・・・」

哀

「最近よく聞く名前ね、その2人。」

刃

「その2人に結構キツい事言われたんよ、みんな。」

コナン

「フーン・・・」

哀

「そういえばコナン君、今度大会に出るって言つてたわよね？」

たくま

「ん？何の大会だ？」

コナン

「1週間後に、日本一の探偵団を決める大会があつてな。資格は小学生→高校生までで、5人と保護者1人合わせて計6人で1チームで参加できるんだよ。地方ごとに予選大会があつて、それを勝ち抜いた探偵団が地方代表として本戦に出られるんだ。」

暁

「面白そうですね。」

哀

「私とコナン君は確定で、保護者役に成美先生を選んだんだけど…・後3人が決まってないの。あなた達、今からジャンケンして3人選んでくれない？」

マリア

「了解や。」

その後歩美達は何人かに分かれて、ジャンケンを行つた。

その結果・・・

刃

「3人目はアタシ！」

ヨリ

「4人目は私ね。」

マリア

「ほんで、最後がウチや！」

歩美

「何か、スゴイチームになつたね。」

風月

「このチームなら、どんな相手が来ても負ける気がしないわね。」

真希

「出られない私達の分まで、頑張つてね。」

コナン

「ああ！」

コナン達5人は東京代表として、関東地区大会に出場した。

コナン達にとって他県の代表等敵ではなく、コナン達はアッサリ優勝。

関東地区代表として、本戦に出場する事になった。

## 第02話：探偵団大会（後書き）

### 登場人物紹介1

江戸川コナン：『名探偵コナン』の主人公。正体は工藤新一で、薬で幼児化した。帝丹小学校に通つており、少年探偵団の実質的なりーだー。

灰原哀：少年探偵団の1人でヒロイン。正体は元黒の組織の科学者・宮野志保。姉を殺された事で組織を裏切り、幼児化して帝丹小学校にやつて来た。コナンの恋人。

剣野刃：少年探偵団の1人で、ポニー・テールの少女。正体はリアン・ハートネスであり、FBIの捜査官。平次の幼なじみでもある。瞳の色は紫。

金田一ユリ：少年探偵団の1人で、金髪・ポニー・テールの少女。正体は元黒の組織の一員で、本名はリリス・ヴィンヤード。刃とは親友同士。メガネをかけている。

東尾マリア：少年探偵団の1人、メガネをかけたツインテールの少女。実は黒の組織の一員・テキーラの愛娘。正義感が強く、曲がった事が大嫌い。妖木刀・村正の使い手。

浅井成美：かつて月影島の事件でコナンが自殺させてしまった、男性医師。実際はそのすぐあとに赤の組織に拉致され、手術によつて正真正銘の女性となる。江古田小学校で保健医をしている。

服部平次：大阪出身の高校生探偵。コナンの秘密を知る友人であり、ライバル。探偵団大会には大阪代表として参加したが、決勝戦で兵庫代表に負けた。

遠山和葉：大阪出身で、ポニー・テールの少女。平次の幼なじみであり、恋人。

白野美保：京都出身の少女であり、女子高生探偵。フランス人と日本人のハーフで、髪や瞳が青い。京都代表として探偵団大会に参加するが準決勝で敗退する。

瀬藤銀一。美保の幼なじみであり、恋人でもある少年。彼もまたフランス人と日本人のハーフ。

瀬藤金美：美保の同級生の1人。銀一の双子の姉。

月島弓雁：美保の同級生の1人で、メガネをかけた少女。大阪出身。桜野松葉：京都出身の少女で、『桜野亭』の女将をしている少女。弓雁とは親友。

白野琴葉：京都府警の本部長であり、美保の母親。

諸星秀樹：映画『ベイカー街の亡靈』に登場した少年。長野代表。

菊川清一郎：映画『ベイカー街の亡靈』に登場した少年。

江守晃：映画『ベイカー街の亡靈』に登場した少年。

滝沢進也：映画『ベイカー街の亡靈』に登場した少年。

浜崎雪菜：『ベイカー街の亡靈』に登場した設定になつていてる少女。シェフの娘。

大和敢助：長野県警の警部。物騒な言葉が好き。

上原由衣：長野県警の刑事。敢助の部下で、彼の恋人もある。

諸伏高明：所轄新野署の警部であり、敢助の同級生。通称『所轄の孔明刑事』。

明日岡スウ：柏大学付属高等学校に通う少年で、柏少年探偵団のリーダー。兵庫代表。自分にも他人にも厳しい。その正体は・・・!?

浜谷篤子：柏少年探偵団の1人で、スウの幼なじみ。

畠中葉平：柏少年探偵団の1人であり、メモのプロ。

青木雅子：柏少年探偵団の1人で、瞬間記憶能力を持つ少女。

成瀬桜菜：柏少年探偵団の1人。実はスウのライバルでもある女怪盗の正体。

笠美雄也：柏少年探偵団の1人。スウにコナン達の調査を頼まれる。

中嶋茂次：警視庁捜査1課の警部。ある事件をきっかけに、スウの協力者となる。

## 第03話・本戦会場での再会

コナン達は関東代表として、探偵団大会の本戦に出場する事になった。

そして、本戦の開会式が行われる会場にやつて来たのだ。

杯戸シティホテル

コナン

「まさかここで本戦の開会式が行われるとはな。」

哀

「ドキドキするね。」

「よお、工藤！」

コナン

「Jの声は・・・服部か！」

服部平次

「久しぶりやなあ、工藤！」

哀

「服部君達も大会に参加したの？」

遠山和葉

「うん、大阪代表でな。そやけど決勝戦で、兵庫代表のに負けてし  
もたんよ・・・」

平次

「準決勝と決勝まで勝ち残つた探偵団は、普通の客として招待され  
てるんや。」

刃

「ほな、あそこにいる彼らが・・・?」

平次

「ああ、柏大学附属高等学校の柏少年探偵団や・・・手強いで、ア  
イツら・・・」

「あ、『ナン君やん!』

『ナン

「この声は・・・?」

桜野松葉

「ヤホー。」

『ナン

「松葉ちゃん! 大会に出てたの?」

松葉

「うん、京都代表でな。そやけど準決勝で負けてもうて。しゃあな  
いから、『桜野亭』として会場の料理担当したると思つてな。」

「松葉ちゃん・・・」

哀

「！」の声、美保ちゃん？」

白野美保

「どうして私がメイド服着なきゃいけないのー？松葉ちゃんは着物なのにーー！」

美保はメイド服を着ていた。

平次

「力、カワイイ・・・」

和葉

「ジロツ・・・」

松葉

「しゃあないやん、チームなんやし。」

月島弓雁

「美つちゃん、似合つてんじ〜。」

美保

「誉められても嬉しくない・・・銀一も同じの着せられてるし・・・

」

銀一

「うう・・・」

ユリ

「逆に金美さんは楽しそうね。」

刃

「そり、彼女はな・・・」

白野琴葉

「美保、何油売つてんのー。サッサと料理運ぶー。」

コナン

「い、琴葉さん!??」

哀

「琴葉さんまでメイド服着てる・・・」

マリア

「何気に似合つてへんか?」

美保

「そりやね・・・母さん、家でもメイド服着てるから・・・」

ユリ

「い、家でも・・・?」

「おっ、メガネじやねえか!」

コナン

「え?」の声・・・

「お久しぶりですね、コナン君ー。」

コナン達の前に現れたのは、諸星秀樹・菊川清一郎・滝沢進也・江守晃、そして浜崎雪菜だった。

コナン

「諸星君達か！」

諸星秀樹

「よつ、メガネ！」

哀

「あなた達も参加者なの？」

菊川清一郎

「ええ、中部地方代表としてね・・・で、保護者の人があ・・・」

大和敢助『長野県警警部』

「オレだ・・・」

刃

「や、大和警部！？」

敢助

「少しの間有給取つて、息抜きしようと思つてな。由衣と高明も応援で来てるぜ。」

コナン  
「ハ、ハハ・・・」

哀

「一番敵に回したくない人よね・・・」

## 第04話・お互いの疑惑心

篠子

「スウ！」

スウ

「ん？」

青木雅子

「あの2人ちやう？こないだの子らの仲間で。」

スウ

「そのようだな。だが妙だ・・・あの4人、やけに大人びてるよう  
な・・・よし。」

ピリリ、ピリリ・・・

笠美雄也

「はい、もしもし・・・ああ、明日岡か。」

スウ

「笠美か？実は朝霧と一緒に調べて欲しい事があるんだが・・・」

雄也

「何をだ？」

スウ

「江戸川コナン、灰原哀、剣野刃、金田一コリの4人についてだ。経歴とか何でも良いから。」

雄也

「わかった。少し時間かかると思つたが、調べてみるよ。あ、そつ  
いえば例の件だけど・・・」

スウ

「ああ、『ヤツラ』の事か・・・そつちの調査はどうだ?」

雄也

「ボチボチつてトコだね。じゃあ、オレと朝霧はもつ少し調べてみ  
るよ。明日岡もみんなと大会頑張ってくれよ。」

スウ

「ああ、悪いな笠美・・・」

ピッ。

篠子

「電話、笠美君にしてたの?」

スウ

「ああ、『ヤツラ』についての事を調べてもうつてる。オマエらも  
用心してくれ。もしかしたら『ヤツラ』は、既にこの会場に紛れ込  
んでるかもしだねえんだからな・・・」

篠子

「うん・・・」

葉平・桜菜

「ええーーー！」

雅子

——ああ！！

ギンツ

ゾクウツ！！

「ハッ！？」

哀

四  
ノ

「イヤ、今向こうから刺すような視線を感じたんだよ・・・」

刃

「私も」

マリア  
「ウチもや。」

「え？ それって一体どういひ・・・？」

コナン

「考えられる可能性が一つある・・・もしかしたらアイツらは、ペントテュラムアッドの残党かもしだれない・・・」

哀

「ええっ！・・・でも彼らの顔私知らないよ・・・？」

ユリ

「知らないから」といつて、残党じゃない可能性はないわ・・・現に私達は、歩美ちゃんの姉が組織の一員だつた事もマリアちゃんの父がテキーラだつた事も、本人達から聞くまで知らなかつた・・・つまり、私達の知らない構成員がいても不思議じやないって事よ・・・」

刃

「そやけど仮に彼らがそいやとしたら、何で今頃・・・？」

コナン

「わからねえ・・・とにかく、アイツらからは目を離さねえ方が良いだろう。みんな、油断するなよ・・・」

哀

「うん・・・」

刃・ユリ

「ええ・・・」

マリア

「ああ・・・」

スウ達の正体とは、果たして・・・！？

## 第05話・予選、そして謎の影

『会場にお集まり頂いた8組の探偵団さん、よつこじらひしゃいました！』

コナン

「いよいよか。」

『これから始まるのは予選です。1ヒド4組になるまで篩にかけさせて頂きます。では最初の問題です！』『カリマイナチウス』。この学名で知られるある昆虫は、とある事件で犯人がトリックに使った昆虫なのですが・・・さて、この昆虫の一般に知られた和名は何でしょう？1：タテハチョウ 2：アゲハチョウ 3：コノハチョウ。制限時間は1分です！』

コナン

「これは3番だな。」

哀

「そうなの？」

コナン

「オレは以前、この蝶をトリックで使った事件に遭った事があるんだ。急ぐぞ！』

『正解は3番です！』

これにより、6組まで減った。

『それでは第2問です！直接的な血の繋がりがなくても、歩んできた人生が極端に似通つていてる2人の事を何というか？1・以心伝心  
2・精神的双子 3・多重人。制限時間は1分です！』

コナン

「確かにこれは・・・2番だ！」

『正解は2番です！これにより、上位4組が出揃いました！』

コナン

「何とか予選突破だな！」

コリ

「諸星君達のチームも、あのチームも予選突破みたいね。」

マリア

「ああ・・・後1組は全然知らん子らやな・・・」

『それでは今から15分休憩とします。』

コナン

「15分休憩か・・・」

哀

「コナン君、私のど渴いたよ～・・・」

マリア

「ウチもや・・・」

コナン

「じゃあ、自動販売機に飲物でも買いに行くか。」

成美

「私はトイレに行つて来ます。」

コナン達は会場を出て行く。

その彼らを、謎の影が見つめていた。

女子トイレ

成美

「（新一君達、楽しめてるよつで良かったです。ああいうの見てると微笑ましいですね・・・）」

成美は微笑んでいる。

その彼女の背後に、影が迫っていた。

そして・・・

ガバッ!!

成美

「ウニ...?」

成美は後ろから何者かに口を塞がれた。

「うう、うう！」

成美は必死にもがくが、やがて目がトロンとなる。

成美

成美はガクリと氣を失つてしまつた・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5048t/>

名探偵コナン・沈黙(サイレント)の黒水晶(レクイエム)

2011年10月3日04時28分発行